学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 数理科学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	10単位	合計30単位修得
専門科目		○							18単位	
一般教養科目					○				2単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 先端物理学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1			DP2							
		豊富な専門知識	豊富な実践経験	論理的・批判的に思考し、問題を解決に導く研究能力	情報を自分で収集し、活用できる	国際社会の中で物理学の果たす役割を考えることができる	専門分野及び関連分野の諸問題の発見・分析・解決に能動的に貢献できる					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○			学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目		○									12単位	
一般教養科目						○	○				2単位	
正課外	研究倫理教育			○								
	情報倫理教育			○								

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 情報計算科学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1		DP2		DP3	DP4					
		高度な専門知識	高度な研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力	社会の変化に対応できる能力	諸問題の解決に関与、貢献することができる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物				○		○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目		○									12単位	
一般教養科目					○						2単位	
正課外	研究倫理教育		○									
	情報倫理教育		○									

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 生命生物科学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目		○							10単位	
一般教養科目					○				4単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 建築学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力・設計能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	20単位	合計32単位修得
専門科目		○	○	○	○				10単位	
一般教養科目			○	○	○				2単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 先端化学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	14単位	合計32単位修得
専門科目		○							14単位	
一般教養科目					○				4単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 電気電子情報工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目		○							12単位	
一般教養科目					○				2単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 経営システム工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	14単位	合計30単位修得
専門科目		○							14単位	
一般教養科目					○				2単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 機械航空宇宙工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	14単位	合計30単位修得
専門科目		○							14単位	
一般教養科目					○				2単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 社会基盤工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	倫理観と国際的視野	自ら課題を発見・設定し、解決する能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○		○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	14単位	合計30単位修得
専門科目		○							12単位	
一般教養科目				○					4単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 国際火災科学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2	DP3	DP4					
		高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目		○							12単位	
一般教養科目					○				2単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 修士の学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

創域理工学研究科 数理科学・先端物理学・情報計算科学・生命生物科学専攻 博士後期課程（2026年度入学、専攻分野の名称：理学）

学修手段		学修目標				周知	把握	成果
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物
		DP1	DP2	DP3	DP4			
		極めて高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力			
博士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、博士の学位論文	博士の学位論文、博論発表
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得
一般教養科目			○					
正課外	研究倫理教育		○					
	情報倫理教育		○					

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表
創域理工学研究科 建築学・先端化学・電気電子情報工学・経営システム工学・機械航空宇宙工学・社会基盤工学・国際火災科学専攻 期課程（2026年度入学、専攻分野の名称：工学）

学修手段		学修目標				周知	把握	成果
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物
		DP1	DP2	DP3	DP4			
		極めて高度な専門知識	研究能力	自ら課題を発見・設定し、独創的に解決する能力	国際的な視野を持って活躍できる能力			
博士の学位論文※1 →研究の成果物		○	○	○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、博士の学位論文	博士の学位論文、博論発表
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得
一般教養科目			○					
正課外	研究倫理教育		○					
	情報倫理教育		○					

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。